

消化管外科手術における ICG 蛍光観察の有用性

1. 研究の対象

2018 年 6 月から 2018 年 11 月までに当院で外科手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的：ICG 蛍光観察を行うことにより、肉眼所見に比べ腸管の血流障害の有無がより正確に判断できる。外科緊急手術症例において、腸管切除範囲等が適切かどうか検討することを目的とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、年齢・性別、イニシャル、病歴、術後経過 等

資料：手術時に録画した DVD 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒861-4193 熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院

TEL：096-351-8000

外科 医長 沖野 哲也

研究責任者：外科部長 高森 啓史

以上